



地域の安全を守るために

消防団

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っている存在です。どのような人が参加し、普段どんな活動を行っているかご存じですか。今回は、知っているようで意外と知らない消防団について紐解いていきます。

問 市防災安全課 TEL 34-0411

消防団と消防署の違いとは？

	結城市消防団	筑西広域消防本部
組織	本部、11分団 (10分団、女性分団)	本部、3消防署、5分署、 1出張所
職員または団員数	消防団員 228人	消防職員(市内)55人 (全体)307人
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 普段は別の仕事をしている • 自分たちが暮らす地域を守っている • 地域のことをよく知っている 	<ul style="list-style-type: none"> • 消火、救急、救助活動など専門性をもつ仕事 • 市民の暮らしや財産を守っている
建物	消防機庫など11棟 (女性分団詰所を含む)	消防署など2棟(市内)
消防車両	消防車両など14台 <ul style="list-style-type: none"> • 消防ポンプ車 • 小型動力ポンプ付積載車 	消防車両など10台(市内) <ul style="list-style-type: none"> • 消防ポンプ車 • 救助工作車 • 救急車

消防団員は地域を支える存在

消防団員は火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域での経験を活かした消火活動や救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。消防士(消防職員)とは異なり、会社員や自営業、主婦など普段は他の仕事をしています。大規模災害時をはじめとして、地域の安全確保のために大きな役割を果たしています。



普段はどんな活動をしているの？

有事に備え、各分団での消防団に必要なポンプ車の基本操作や動作訓練などを行っています。また、火災予防の啓発・広報活動などの予防活動をしています。



< 訓練 >

放水訓練

火を消すための訓練です。出動時に、安全で正確にすばやく活動できるよう行っています。



水防訓練

川などから水があふれるのを防ぐ訓練です。袋に土を入れた「土のう」を作り、それを積み重ねて水をせき止めます。



規律訓練

集まり方、並び方など、集団行動の基本動作を訓練します。安全で正確に活動することにつながります。



土砂災害防御訓練

土砂災害警戒区域に指定されている七五三場地内の施設を会場として、土砂災害警戒情報発表から警報解除までの流れを実演・確認します。



< 点検 >

水利点検

火災の時に使う消火栓や防火水槽など(水利)を点検します。結城市には約1,000個の水利があります。



設備や器具の点検

いつでも使えるよう、日頃の点検はもちろんのこと、月1回程度ポンプ車の動作点検を行っています。



＼ほかにも / 平常時はこんな活動をしています

巡回(見回り)

ポンプ車試運転時や春と秋の火災予防週間など、担当地区内で火災の発生を未然に防ぐために巡回を行っています。



祭りゆうきへの参加

消防車両の展示や消火体験などを企画し、防災活動の普及や消防団のPR活動を行っています。



女性消防団

市内防災訓練での応急手当指導や、火災予防運動時の啓発品配布など防火防災に関する普及啓発活動を行っています。

